

認知症

(にんちしょう)

益城町認知症地域支援推進員から町民のみなさまへ

問い合わせ：益城町社会福祉協議会 214-5566

東部圏域包括支援センター 289-0099

西部圏域包括支援センター 285-4822

について、知っていますか。



9月は世界アルツハイマー月間です。世界中で病気についての理解や知識を深めるさまざまな活動が行われます。町民のみなさんへアルツハイマーを題材にした映画や漫画を紹介するチラシを作りました。ぜひ視聴してみてください。

movie



「私の頭の中の消しゴム」
2005年日本公開 117分

運命的な出会いで恋に落ち、結婚したスジンとチョルスだったが、新婚生活で、スジンはガスの火を止め忘れしたり、いつも通る道で迷ったりするようになってしまい、病院で、若年性のアルツハイマーだと診断されてしまう。いつかチョルスの顔さえも忘れてしまうのなら離婚すると泣くスジンを一先懸命に支えようとするチョルス。その優しさにはげまされて元の生活を取り戻そうとするスジンだが、ある日事件が起こってしまう。

「何かを許すということは、心の一部屋をあけるだけでいい」
病気を題材に、スジンとチョルスの過去、家族のかっとうや、人を愛するということ、ゆるすということなどをえがいたラブストーリー。



「明日の記憶」
2006年公開 122分
©2006「明日の記憶」製作委員会

主人公の雅行は40代、広告代理店で働き、仕事が生活の中心の生活を送っていた。しかし、このところすぐに言葉が出てこないことや、大事な予定を忘れてしまうことに悩んでいた。病院でみてもらうと、アルツハイマーだと診断されてしまう。アルツハイマーだなんて年寄りの病気のはずだ、と病気を認められず荒れる雅行によりそう妻の枝実子。ひとり娘の結婚、出産、働きだした妻。今までがむしゃらに働くことが男のつとめだと思っていた雅行は、病気になったことをきっかけにして、知っているようで知らなかった家族の思いと向き合うことになるが、日に日に普通のことが出来なくなっていく。いつしか妻のことも忘れてしまうことをさとした雅行が、最後に向かった先とは……。



「ぼけますから、よろしく
お願いします。」
2018年公開 101分
©2018「ぼけますから、よろしく
お願いします。」製作・配給委員会

のんびりと二人暮らしをしていた父と母だったが、最近母の様子がどうやらおかしい。医者に診せると、アルツハイマーだと診断されてしまう。どんどん立ちいなくなるふたりの生活を見て、東京で働くわたしは悩む。「仕事を辞めて帰ってよようか……」。そんなわたしに父は言う、「(介護は) わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。

95歳ではじめてリンゴをむいて、なかなか上手じゃろと笑う父。子どものように泣いた後、父が茹でたうどんをすすっているうちに笑顔になる母。テレビ局で映像を作る仕事をする「わたし」が記録した、アルツハイマーになってしまった母と、その介護をする父のドキュメンタリー。

drama 「大恋愛一僕を忘れる君と」 2018年 TBSテレビ 全10話

戸田恵梨香演じる若年性アルツハイマーにかかってしまった医者(尚)と、それを明るく支えるムロツヨシ演じる小説家(真司)のラブストーリー。2018年にTBSテレビで放送され、戸田恵梨香とムロツヨシの演技が話題となりました。

comic 「ペコロスの母に会いに行く」 著者 岡野雄一

「母ちゃん、ボケてよかったな」。父を亡くした年に認知症になった母と、その息子の何気ない日常の4コマ漫画。実写映画やアニメ化もされ、「コミックエッセイ劇場 ペコロスの母に会いに行く」でインターネットを検索すると漫画を読むことができます。